

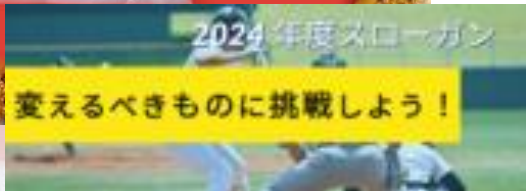


## 第10回オリエンタルフーズ旗争奪三年生交流大会

日時 令和6年11月23(土)24(日)12月7(土) 8(日)

〔予備日 12月14日(土)〕

会場 愛鷹球場 草薙球場 富士球場 アルカディア球場 ほか



主催 (公財) 日本少年野球連盟 静岡県支部  
後援 (公財) 日本少年野球連盟  
協賛 株式会社オリエンタルフーズ

<http://www.orientalfoods.jp/>

 ボーイズリーグは一切の暴力、暴言を禁止しています



公益財団法人 日本少年野球連盟

**BOYS LEAGUE**

中日本ブロック

野 球 を し な が ら  
団 結 ・ 友 愛 ・ 規 律 ・ 勇 気 ・ 忍 耐  
を 身 に つ け よ う

(公財) 日本少年野球連盟規約 第3条

本財団は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に

正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の錬磨と

スポーツマンシップを理解させることに努め、

規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、

もって次代を担う少年の健全育成を図ることを目的とする。

公益財団法人 日本少年野球連盟

会長 惣田敏和

[ 本部 ] 大阪市浪速区日本橋西1丁目3番19号  
南海日本橋ビル2階

TEL (06) 6649-0061

**野球をやるならボーイズリーグ**

# 大会役員

顧問 (公財)日本少年野球連盟 会長 惣田敏和  
(公財)日本少年野球連盟 特別相談役 堀内健  
(公財)日本少年野球連盟 副会長 工藤真一  
(公財)日本少年野球連盟  
中日本ブロック長 松本行弘  
相談役 (公財)日本少年野球連盟 理事待遇 杉浦真一

大会名誉会長 宮本昌宜 (株式会社 オリエンタルフーズ代表取締役社長)  
大会会長 矢田正行 (静岡県支部支部長)  
大会副会長 瀧澤広行 (静岡県支部副支部長・事務局長)  
宮本博之 (静岡県支部副支部長)  
大会実行委員長 瀧澤佳孝 (富士ボーイズ 代表)  
大会運営委員長 鈴木貴司 (静岡県支部 副支部長)  
大会運営副委員長 芹澤輝充 (御殿場ボーイズ 代表)  
山田登 (島田ボーイズ 代表)  
進士佳典 (静岡県支部事務局)  
大会運営委員 山本浩士 (浜松ボーイズ 代表)  
榎山浩 (スルガボーイズ 代表)  
芦澤厚史 (静岡葵ボーイズ 代表)  
熊切大介 (静岡府中ボーイズ 代表)  
富樫憲之 (浜松北ボーイズ 代表)  
倉島裕貴 (浜松修学舎中学ボーイズ 代表)  
宮本浩和 (下田ボーイズ 代表)  
池田竜二 (菊川ボーイズ 代表)  
森重明 (大井川ボーイズ代表)  
中村好寛 (磐田ボーイズ代表)  
大会広報委員長 瀧澤佳孝 (富士ボーイズ代表)  
大会審判部顧問 小川潔 (中日本ブロック審判長)  
大会審判長 高林俊光 (静岡県支部審判長)  
大会副審判長 中山真樹 (静岡県支部副審判長)  
大会副審判長 杉山晴道 (静岡県支部副審判長)  
大会審判部 静岡県支部審判部 審判団  
大会会計 高橋直希 (富士ボーイズ副代表)  
大会事務局長 市川修二 (富士ボーイズ副代表)  
大会運営協力 富士ボーイズ父母会 駿東ボーイズ父母会 静岡葵ボーイズ父母会  
スルガボーイズ父母会 御殿場ボーイズ父母会 下田ボーイズ父母会 静岡府中父母会

# 第10回オリエンタルフーズ旗争奪三年生交流大会日程

開催日 令和6年11月23(土)24(日)12月7(土)8(日)  
予備日 12月14日(土)

球場 草薙球場 富士球場 アルカディア球場 ほか

大会受付 令和6年11月23日(土)

開幕式 開催いたしません  
優前年度優勝チーム試合会場にて優勝杯返還式を行います。勝杯贈呈式は、11月23日(土) 草薙球場にて行います。

閉会式 決勝後に優勝旗・優勝杯授与式を行います。

## 試合開始予定時間 & 球場担当チーム

月	日	曜日	確保球場	開門	第1試合	第2試合	第3試合	担当チーム
11	23	土	草薙球場	8:00	9:00	11:30	14:00	静岡府中
11	24	日	草薙球場	8:00	9:00	11:30	14:00	静岡葵
12	7	土	愛鷹球場	8:30	10:00	12:30		下田
12	7	土	アルカディア	8:30	10:00	12:30		御殿場
12	8	日	富士球場	8:00	準決1	準決2	決勝戦	
					9:00	11:30	14:00	勝ち上がりチーム
12	14	土	予備日					

注) 試合の経過により試合開始予定時刻より試合開始が早くなる場合がありますので参加チームはご注意ください。

## 球場責任者

球場名	球場住所	球場責任者
草薙球場(11/23)	〒422-8008 静岡県静岡市駿河区栗原19-1	静岡府中ボーイズ 熊切 代表
	TEL 054-261-9265	090-8422-7662
草薙球場(11/24)	↑	静岡葵ボーイズ 芦澤 代表
アルカディア	〒409-2213 山梨県南巨摩郡南部町大和360番地	御殿場ボーイズ 芹沢 代表
	TEL 0556-64-3113	090-9925-5147
愛鷹球場	〒410-0001 沼津市足高202	下田ボーイズ 宮本 代表
	055-924-8878	090-8677-5300
富士球場	〒417-0809 富士市中野671	駿東ボーイズ 鈴木 代表
	TEL 0545-36-1140	080-3564-3904

順延時 都度支部にて決定後、該当チームの代表へ連絡します。  
\* 中止決定は、当日6:00に担当チームが判断し、該当チームの代表及び大会運営委員長、事務局長、審判委員長へ連絡してください。

## 予備球場について

今大会が雨天順延となる場合は、下記予備球場に変更がある場合があります。  
球場変更については天候状況により前日17:00までにメールにより配信いたします。

## 審判費用

各球場にて審判員費用を清算します。  
\* 各球場責任者は、責任審判より表を受領し、該当額を支払ってください。

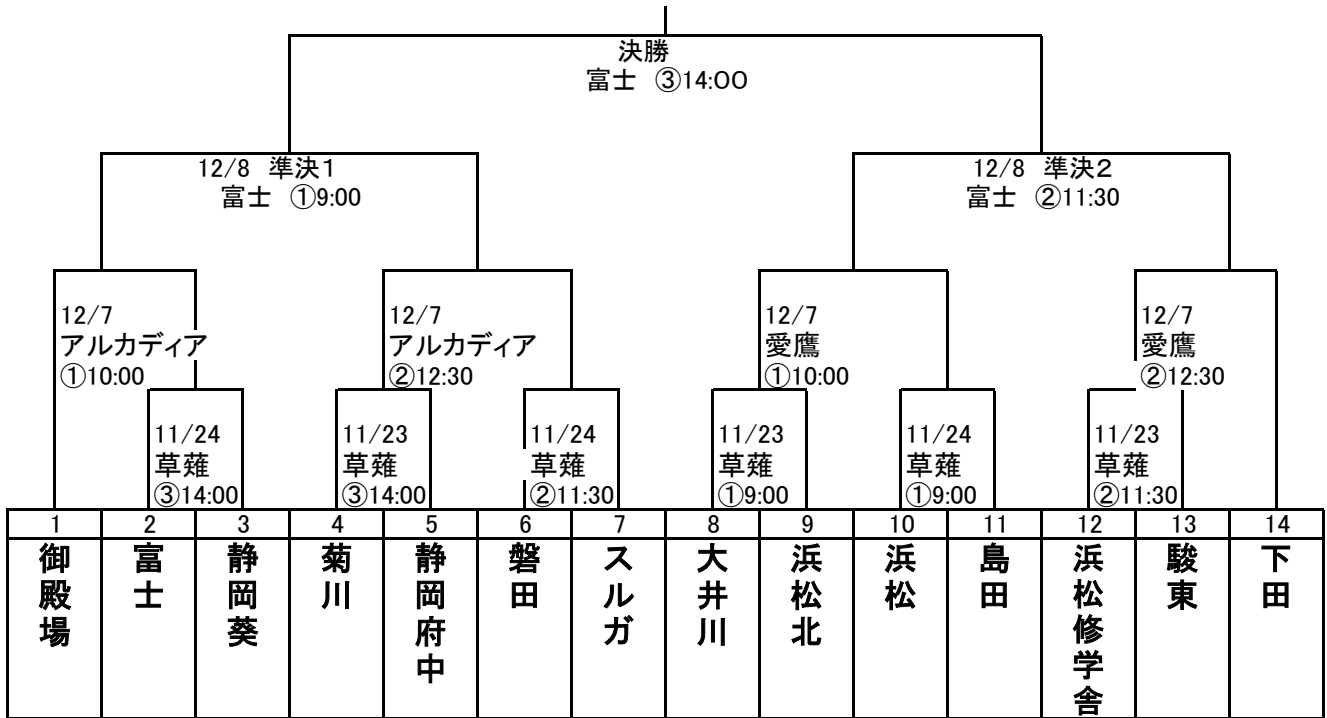
## 結果報告

担当チームは、試合結果を連盟試合速報システムの運用・支部役員ラインに送信をお願いします。  
\* 詳細結果用紙は、瀧澤広報部長へ写真メールしてください。

## 備考

ゴミは必ずお持ち帰りください。  
中学野球最後の大会になりますので大いに楽しんで応援をお願いいたします。

# 2023 オリエンタルフーズ旗静岡県三年生交流大会



## 第10回 日本少年野球オリエンタルフーズ杯静岡県3年生交流大会規定

1. チームの登録選手 中学生の部は11名以上25名以内（ベンチ入りは20名以内）、小学生の部は9名以上20名以内とする。
2. 出場選手はその大会の登録締め切り日現在連盟への登録済みの者に限る。
3. 審査証は当年度発行のものとする。
4. オーダー表記入選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチ、スコアラーのみベンチに入ることが出来る。  
但し、各種登録証（チーム責任者、監督、コーチ）および、審査証（選手）を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは試合開始までに間にあった場合は、審査の上ベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。  
なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。  
チーム責任者が不在の場合は試合できない。
5. 組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。  
ただし、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
6. 監督（背番号60）、コーチ（背番号50）は選手と同じユニフォームを着用すること。
7. 試合開始時刻60分前までに試合球場に到着し、直ちにオーダー表5部、投球回数記録副表3部および大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出のうえ所定の審査を受けなければならない。
8. オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
9. 試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して、没収試合を宣言することができる。
10. 試合方式など
  - ・中学生の部



- (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。  
試合成立後は試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）。  
また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01（4）により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。  
試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
- (2) 4回終了時（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4回表終了時）10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
- (3) 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回（決勝戦は10回）あるいは試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）

・小学生の部

- (1) 各試合は6回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から1時間40分（決勝戦は2時間）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01（4）により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。  
試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
- (2) 4回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
- (3) 6回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長7回（決勝戦は9回）あるいは試合開始から1時間40分（決勝戦は2時間）を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）

11. ・中学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。

- (1) 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする。連続する2日間で80球を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。また3連投（連続する3日間）する

場合は1日の投球数を40球以内とし4連投(連続する4日間)は禁止する。

- (2) 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可とする。
- (3) (1)~(2)を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- (4) 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。
- (5) ボークは投球数としない。
- (6) 雨などのノーゲームになった試合は投球にカウントする。
- (7) 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮する事。

・小学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は以下のとおり制限する。

- (1) 1日最大70球とし、連続する2日間で105球とする。  
3連投(連続する3日間)は禁止する。
- (2) 大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目70球の投球を可とする。
- (3) (1)~(2)を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- (4) ボークは投球数にしない。
- (5) 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

・共通事項

- (1) ダブルヘッダーの場合で、2試合に登板した時は連続2日間投球した事とする。  
また、1試合のみ登板した場合は、1日の投球とする。
- (2) 小学生に於いては投手から捕手の制限は設けないが、指導者は十分考慮すること。

12. (1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。  
延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める  
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない)
- (2) 守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、  
その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
- (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
- (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣告してから「30秒以内」とする。

13. 1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置につくことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニング入れば、再び投手として登板すること



ができる。

14. 審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用についての確認は認める。
15. 監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。  
(ベンチからは駆け足で)
16. 2 塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
17. ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。  
また、打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
18. 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
19. 小学生の部は、攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチスボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合、必ず両耳付ヘルメットを着用すること。
20. 各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具【マスク、捕用手ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファウルカップ(一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く)】2組を備えること。
21. ユニフォーム、バット、ボール、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
22. 捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 23.グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
24. ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
25. 光化学スモッグ発生の場合、試合および選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
26. 試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。

#### 参考

##### 野球規則 7.01 (4)

7.02 (a) によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最

終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが得点しないうちにコールドゲームがせられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

<タイブレーク実施細則>

(1) 特別規則

(イ) 中学生の部は延長 8 回あるいは試合開始から 2 時間を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は 10 回あるいは 2 時間 20 分を超えて (いずれか早い方)、小学生の部は延長 7 回あるいは試合開始から 1 時間 40 分を超えて (いずれか早い方)、決勝戦は 9 回あるいは 2 時間を超えて (いずれか早い方)、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。

(ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。

(ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者、そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる

(ニ) この場合の代打および代走は認められる。

(2) チームおよび個人記録

チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

(イ) 投手記録

- ・規定により出した 3 走者は、投手の自貢点とはしない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打、無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・規定により出した 3 走者の出の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した 3 走者を絡めた打点、併打などは全て記録する

## 新型コロナウイルス等の感染症対策及び健康管理について(新ガイドライン)

### 【本ガイドラインの目的】

新型コロナウイルスは、昨年5月8日に2類から5類へ移行されて1年が経過し、この間、感染拡大期はあったものの、大きな被害はなく沈静化してきたといえる。

しかし、未だにコロナ罹患者にブレインフォグ(極度のうつ症状)等の後遺症に悩まされている方や依然として高齢者や基礎疾患を持っている方にとっては、脅威のウイルスであることには変わらない。

今後とも大規模な新興感染症が起こりうるため、今回改めて、新型コロナウイルス、インフルエンザ等を含めた幅広い日常的な感染症対策をとり、子どもたちの健康管理を行うことを目的とした本ガイドラインに改訂を行った。なお、このガイドラインに記載している「感染」とは、上記の新型コロナウイルス等感染症に感染した場合を指す。

当連盟として、子どもたちやその家族が安心して野球に取り組める環境を提供する責務から、本ガイドラインを基本として感染症対策に当たっていくこととする。

## 1.活動参加に際しての健康管理について

### (1)日常的な健康管理

- ①当連盟に参加する全ての関係者(保護者等含む)は、当日の体温を測り、熱・風邪症状等の体調不良が見られた場合は、活動に参加せず、欠席すること。
- ②チーム代表は、社会の感染状況やチーム近辺での感染流行について把握し、選手や指導者を含めたチーム内の健康管理に努め、必要な時にはチーム活動の休止等の措置がとれる管理体制を確立すること。
- ③食事前等、石鹸等による小まめな手洗い、消毒をすること。
- ④各チームは、保健衛生用品として体温計、石鹸、洗剤、アルコール等を常備しておくこと。
- ⑤濃厚接触者の定義はなくなったが、仲の良い友達、家族等同居者が感染した場合は、チーム活動が屋内やベンチ等の密になる場合は、当該選手等に対しマスク着用を勧めるなど代表が適宜判断すること。

### (2)感染拡大期等の予防対策

- ①チーム活動当日は、チーム内全ての関係者に発熱や咽頭痛・咳などの有症状者がいないか等の健康管理を徹底し、有症状者が判明した時点で直ちに当該有症状者を自宅に帰す等の措置をとり、受診を勧めること。

②バス及び自家用車の相乗り等の移動時には、常時換気を行い、出来ればマスク着用を推奨する。

③宿舍内は換気をこまめに行うこと。感染が疑われる場合等はチームとしてマスク着用について適宜判断すること。

## 2.感染者の取り扱い等について

### (1)感染者の活動欠席期間について

学校保健法施行規則では、出席停止の期間の基準を「発症した後五日を経過し、かつ、症状が軽快した後一日を経過するまで」と規定しており、これを適用する。発症日の翌日起算。

(例)7月2日に発症、7/3が第1日目となり7/6が5日目にあたり、7/6の朝に軽快したとしたら、7/7の朝以降からチーム活動に復帰できる。7/5までに軽快していた場合は7/6から参加できる。なお、無症状者の「発症日」は検査のため検体を採取した日と規定されている。

### (2)チーム活動停止の検討について

①所属する選手が20名以上のチームは指導者を含めてチーム人数の2割の感染者を出した場合は、チーム活動の停止を検討し、停止する場合は2日間経って他に感染者が出ていないか確認し、健康管理の上、問題なければ活動を再開する等、停止期間については、停止の有無を含めてチーム代表が判断する。

②所属選手20名未満のチームは5名以上感染者が出た場合、上記の2-(2)-①適用する。

## 3.主催大会等の規則

### (1)通常時

大会時の規定はコロナ禍以前の現行の連盟規約、大会規定、大会運用細則等を適用する。

### (2)感染拡大期等

①感染拡大期等は、第1項-(2)「感染拡大期等の予防対策」を適用すると共に、大会審査時における選手の氏名等の声出しを中止するなど主催者が過去の経験と従前のガイドラインの対策を参考に社会の感染状況に合わせて、適用範囲を明確にし適宜判断する中で感染拡大の防止に努めること。

②大会欠場について、大会主催者は、第2項-(2)「チーム活動停止の検討について」の基準により、感染者が出た当該チームを欠場とさせることができる。

※感染拡大期とは、「第10波」等の「波」で象徴される社会での大流行期を指し、感染拡大期等は、チームにおいては、チーム内で複数人感染が判明したり、選手が通う学校で学年・学校閉鎖が起これ、放置するとチーム内での感染拡大が危惧される場合を指す。



## 中学生投手の投球制限ガイドライン 2023年版

### 中学生の部

中学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。

- ① 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする。  
連続する2日間で80球を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。  
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を40球以内とし  
4連投（連続する4日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の  
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- ④ 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、登板最終日並びに  
翌日は捕手としても出場できない。
- ⑤ ボークは投球数としない。
- ⑥ 雨などのノーゲームになった試合は投球にカウントする。
- ⑦ 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮する事。

### 小学生投手の投球制限ガイドライン

#### 小学生の部

小学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は以下のとおり制限する。

- ① 1日最大70球とし、連続する2日間で105球とする。  
3連投（連続する3日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目70球の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の  
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ④ ボークは投球数にしない。
- ⑤ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

#### 補足事項

- 1.ダブルヘッターの場合で、2試合に登板した場合は、連続2日間投球したとする。
- 2.また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。

#### ◎投球制限ガイドラインの補足説明

##### (1) ③について

打者の途中で制限が来た場合とは、投球日における可能投球数の事である。

中学レギュラーの部を例にすると、初日に於いては80球を超えた場合であり、また、初日68球投げた連投2日目であれば、2日目の可能投球数52球を超えた最後の打者に適用される。

投手に3連投を予定していた場合には、初日、2日目に40球を超えると3日目は投げる事ができない。初日、2日目に於いて打者の途中であっても40球投げた時点で交代しなければ、3連投できない。41球投げれば3連投できない。（打者の途中での投手の交代は制限していない）

##### (2) ダブルヘッターについて

ダブルヘッターの試合は、その日の第1試合、第2試合どちらかで投げれば翌日（前日）の試合の連続扱いとする。（片方の試合に登板しなくとも休みとはしない）

両方の試合に投げた場合は、1日の最大投球数80球（中学レギュラー）で連続の試合で投げたこととなり、翌日投げる場合、また前日投げている場合は、3連投の扱いとなり、1試合40球を超えていると投げられない。



	第一日目	第二日目	第三日目	第四日目	第五日目	第六日目	備 考
投手A	80	0	80	0	80	0	80球投げた翌日には登板していないため、翌々日には80球投球できる。 (打者終了時に80球を超えても、1試合分の最大カウント数は80球)
投手B	80	40	休	80	0	80	一日目80球、二日目40球で連続する2日間で120球となったため、三日目は投手・捕手として出場できない。(※また、2日間で80球を超えているので三日目は捕手として出場できない規定もある。投手D参照)
投手C	40	40	35	休	80	40	3日間連続40球以内であれば登板可能。ただし球数に関わらず3日間連続登板した場合は、四日目は投手・捕手として出場できない。 四日目が休みだったので、五日目80球、六日目40球の投球は可能。
投手D	40	45	休	30	60	休	一、二日目で80球を超えたため、三日目は投手・捕手として出場できない。 四、五日目で連続する2日間で80球を超えているため、六日目の3日間連続登板および捕手として出場できない。
投手E	40	40 40	休	80	0 40	休	一、二日目で40球以内の3連投をしているため、三日目は投手・捕手として出場できない。 四日目は80球のため五日目は投球した時点から1試合目に登板していき連続する2日間で80球を超えるため六日目は投手・捕手として出場できない。
投手F	30 50	休 ※ 捕 手 可	40 40	40	休	80	ダブルヘッダーで80球以内であっても、どちらかの試合で40球を超えた場合は、3連投できないが、※連続した2日間で80球以内なので、翌日は捕手としては出場できる。 第3日目からの3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は投手・捕手として出場できない。
投手G	40 40	0 40	休	0 40	40 40	休	3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は次の日は投手・捕手として出場できない。1日目、2日目、5日目の第2試合においては、「打者途中で制限数を迎えた場合のみ」打者終了まで投げて、球数(40以上)はカウントしない。
投手H	40 40	40 休	休	40 0	40 40	休	3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は投手・捕手として出場できない。 1日目の1試合目、4日目の1試合目、5日目の1試合目は1日の投球数の上限数に達していないため、「打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。」は適用しない。

※打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。  
 ※数字は投球数。「休」は投手・捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。  
 ※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

## 大会観戦時の注意事項

### 【撮影とSNS投稿に関して】

当連盟所属チームの選手・関係者を撮影されます際には、被写体となる方の肖像権にご配慮頂き、個人が特定されるような方法で撮影されないようにお願いします。また、撮影は手持ち撮影のみとし、**三脚の使用や球場設置物へのカメラの固定は禁止**いたします。

試合内容をSNSなどで公表される際には、選手・関係者の肖像権及びプライバシーにご配慮いただき、これらの**無断公表とならないよう**にお願いします。

### 【応援に関して】

球場利用上のルールにより、声、拍手以外の**鳴り物の使用は禁止**いたします。

以上



# 選手名簿

## 静岡県支部 磐田ボーイズ

代 表	監 督	コ ー チ	M G	主将	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
				背番号	36	0	1	4	5	7	12	20	27	34	35	37	42	44	61	63	77	96	99					
中 村 好 寛	吉 村 正 之	中 山 泰 成	M G	選手名	磯部 祐三	鈴木 琥太郎	仲儀 遥翔	井本 武	長江 慶士	榎谷 太寿	松本 侑大	鈴木 陽友	岡本 行愷	木下 翔瑛	安藤 義權	杉山 栄	大原 聡太	青島 涼太	稗田 孝太郎	大石 悠月	内山 樟太郎	黒木 陸翔	内山 月斗					
				学年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年			

## 静岡県支部 スルガボーイズ

代 表	監 督	コ ー チ	M G	主将	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
				背番号	11	2	7	9	14	23	25	26	33	36	41	42	44	55										
丸 山 浩 志	工 藤 隆	椎 田 清 隆	M G	選手名	杉山 永晃	須川 駿生	芦川 愛斗	朝香 和士	池田 晴希	尾形 玲旺	平野 笑琉	日向 雄星	井上 誠大	菅野 由翔	石橋 侑馬	椎田 悠太	加藤 琉貴	笠井 陽向										
				学年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年								

## 静岡県支部 大井川ボーイズ

代 表	監 督	コ ー チ	M G	主将	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
				背番号	14	0	1	2	4	15	17	24	28	29	32	33	37	44	46	47	51	56	77	80				
森 重 明	袴 田 晋 午	江 塚 諭	M G	選手名	大井 勇翔	高田 颯	大倉 一紗	青野 眺大	菊地 流星	杉村 竜平	北川 翼	加藤 禅己	小宮 昇真	杉田 倭	杉山 満己	栗城 昱行	鈴木 隆太	市川 航成	石切山 湊心	松本 昇磨	岡村 彰真	山本 創輔	永嶋 玲音	鈴木 遥斗				
				学年	3年	1年	2年	2年	2年	1年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年		

## 静岡県支部 浜松北ボーイズ

代 表	監 督	コ ー チ	M G	主将	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
				背番号	38	1	3	4	7	10	14	17	20	24	32	35	36	39	41	46	77							
富 樫 憲 之	山 道 伸 之	鈴 木 理 男	M G	選手名	高橋 瑛人	二橋 泰輔	漆畑 威吹	坂田 景	間部 翔太	一木 柊哉	小笠原 太一	松井 勸太	名倉 陸	前田 信太郎	藤原 海夢	鈴木 康和	佐藤 悠生	林 朔太郎	濱本 亘	木村 謙伸	齋藤 颯太郎							
				学年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年				







# 得点記録表

月 日 球場〔 〕回戦 試合時間 /

チーム名	1	2	3	4	5	6	7			計

月 日 球場〔 〕回戦 試合時間 /

チーム名	1	2	3	4	5	6	7			計

月 日 球場〔 〕回戦 試合時間 /

チーム名	1	2	3	4	5	6	7			計

月 日 球場〔 〕回戦 試合時間 /

チーム名	1	2	3	4	5	6	7			計

月 日 球場〔 〕回戦 試合時間 /

チーム名	1	2	3	4	5	6	7			計

月 日 球場〔 〕回戦 試合時間 /

チーム名	1	2	3	4	5	6	7			計

-----メモ-----



<http://www.orientalfoods.jp/>

**本社・長崎工場**

〒424-0057

静岡県静岡市清水区堀込345-9

TEL.054-395-8876

FAX.054-395-9671

**宮加三工場**

〒424-0911

静岡県静岡市清水区宮加三340-1

TEL.054-337-1662

FAX.054-337-1663